



第134号

令和3年

5月17日発行

蒼雲

小さな挑戦、小さな善行、確かな志

～自立した大人となるために～

校長 山崎 誠

雲南の桜が咲き誇る今春着任しました。雲南は初めての勤務地となります。どうぞよろしく願います。

さて、令和3年度入学生139名を迎え令和3年度がスタートしました。校訓である「誠実・剛健 礼儀・規律 勤労・勉勵」のもと、教育目標である(1)可能性に挑み、協働をとおして道を拓いていく人材の育成、(2)ふるさとを愛し、高い志をもって社会に貢献する人材の育成に、保護者、地域と連携・協働しながら、学校あげて取り組んでいきます。

令和6年に百周年を迎える歴史と伝統の上に立ちつつ、めまぐるしく変革する現代社会を生き抜くことができる人材を育てるべく、次の「3つの力を育てる」ことを、育てる生徒像として掲げています。

(1) 勉学・勤労に主体的に取り組む、自らの可能性を広げていく生徒

(2) 興味・関心と健全な批判精神を持ち、社会とかがわっていく生徒

(3) 自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒

(人間力)

また、この育てる生徒像と連動させ、

三高ドリム・プロジェクト～県内唯一「普通科型総合学科」の魅力開拓・再発見～として、令和3年度の重点目標と具休策を定めました。こうした学校の取り組みや目指す方向をわかりやすくお伝えするため、現在三刀屋高校のグラウンドデザイン(図)を策定・作成しています。完成しましたらホームページ等でお知らせします。

『小さな挑戦、小さな善行、確かな志』

～自立した大人となるために～

こうした取り組みを進める上で、合い言葉を更新に決めました。昨年度までの合い言葉である、「凡事徹底、日々新生」、「志あるところに道はある」を否定するものではありません。私なりの言葉で表現し直したものです。また、自立した18歳の大人として卒業するために何を心がけていくべきかという視点で考えた言葉です。

自立といっても、自律の意味も含め様々な意味合いがあります。いずれにしても、まずは土台をしっかりさせることが大事です。(凡事徹底)。そのうえで、小さな挑戦の積み重ねをしていくことで、小

さな変化を求める主体性を育むことが大切であると考えます。明日の自分に出会うのが楽しみな日々を過ごしてもらいたいと願っています。(日々新生)。成長や挑戦のチャンスは、あたりまえのことをあたりまえにできるようにする中で見えてくるはずです。また、自己実現においては他者意識を忘れないことも大事です。～小さな善行～、一日一善の気持ちを持つことは、誰かを大事にする気持ちや心を養うとともに、誰もが大事にされる安心・安全な学校環境をつくることにもつながります。また、めまぐるしく変革する現代社会だからこそ、～確かな志～を持ち、ぶれずにやり遂げる力を育むことが大事です。(志あるところに道はある)。そして、18歳の自己実現に最も大切な力の一つであり基盤でもある学力の育成を令和3年度の重点目標の最上位において取り組んでいくこととしています。

学校とは、「夢と絆を育む」ところであり、あらゆる教育活動を通じて、学力、人間力、社会力を育成します。新型コロナウイルス感染症がまだ収束しない中、新しい学習指導要領が来年度入学生からはじまるなど、学校を取り巻く環境や教育が一層変化している今、変化を止めず、「行きたい学校、行かせたい学校、応援したい学校」を目指して魅力化を進めていきたいと考えています。

これからも本校教育の推進に、ご理解ご支援をよろしく願います。

令和3年度 入学式



4月9日(金)、晴天の下、「令和3年度 第74回入学式」が挙行されました。卒業式に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小したかたちではありましたが、139名の新入生を迎えることができました。

入学許可の後、校長から、「夢と絆を抱けること、持てることに感謝し、高校3年間でそれぞれの夢と絆をさらに育み、成長して欲しい。」という言葉が贈られました。そして、「小さな挑戦、小さな善行、確かな志々自立した大人となるために」を三高(三刀屋高校)の合言葉に、心身ともに自立した18歳の大人に成長しよう、というお話がありました。

式の規模縮小のため、当日参加できない吹奏楽部による録音での参加等もあり、緊張感の中にも、新入生を温かく歓迎する入学式となりました。



＼ 新任者紹介 /

| | | | |
|-------|----------------------|-------|--------------------|
| 校 長 | 山 崎 誠 (教育庁教育指導課より) | 美 術 | 宇津井 康 興 (松江商業高校から) |
| 地歴・公民 | 長谷川 隆 夫 (大東高校から) | 保健体育 | 稲 田 大 輝 (江津工業高校から) |
| 理 科 | 廣 田 達 也 (松江北高校から) | 英 語 | 舟 津 由 佳 (出雲商業高校から) |
| 英 語 | 岸 本 美 帆 (松江市立女子高校から) | 事務室主事 | 清 水 大 成 (新規採用) |
| 音 楽 | 小 西 慶 一 (出雲商業高校から) | | |



「0」から「1」を生み出す初めの一步 ～1年生フレッシューズセミナー～

4月21日(水)、22日(木)に、1年未来創造探究Ⅰ「フレッシューズセミナー」を本校で実施し、三つの探究スキルゼミに取り組みました。

一つ目として、「自己紹介マップづくり」をしました。自分の趣味や好きな物を書き込んだワークシートをもとにクラスメイトとの共通点を見つけ、「つながり」をつくり、互いにインタビュをしました。

二つ目として、「マシユマロタワーづくり」をしました。賞味期限切れの Pasta 30本とセロテープを使って、できるだけ高いタワーをつくり、その一番上にマシユマロに見立てた紙粘土を載せました。グループで仮説を立てても、実際には思い通りに行かなかったケースが多く、「時間が無駄になった。」という声が聞こえてきました。しかし、どれだけ高くできたかというよりも、アイデアを出し合い、協働したこと自体に意味があったと思います。「0」から「1」を生み出すことは難しいことですが、その楽しさ、やりがいも感じられたと思います。

三つ目として、「先生図鑑づくり」をしました。先生に対してグループでインタビュをする際には、質問事項の雛形が示されていたとはいえ、上手にインタビュをし、相づちを打つ姿も見られました。その後、

一人ひとりが他のグループの人にその先生を「Bye」の写真を使いながら紹介しました。

また、雲南スペシャルプログラムに取り組み2年生3名の実践発表を聞きました。「0」から「1」を生み出すことの困難さとともに醍醐味も伝わってきました。

将来、社会に出た時には「正解」のない問題に必ずぶつかります。その時、自分の力で、あるいは協働して問題に立ち向かう姿勢をもてる人間になってほしいと思います。そのため初めの一步を踏み出しましょう。皆で一歩ずつ歩んでいきましょう。



マイプロジェクト



令和3年3月卒業
三浦琴真

私はマイプロジェクトアワード Summit に2年連続出場しました。私の父がALS患者であったことから、患者さんを今よりもっと笑顔にできるような支援活動がしたいと思い、活動してきました。例えば、コロナ禍の中でもオンラインで交流会を開いて患者さんと直接お話できるイベントや募金活動、広報など、3年間で30以上の企画を実現しました。サミットに参加したことで、自分の活動を知ってもらえる場になり、また大勢の人の前でプレゼンをする貴重な体験となりました。プレゼンをする力や支援活動は自分の進路実現の大きな力になりました。活動を通して患者さんから多くのことを学び、自分自身を変える大きなきっかけになりました。患者さんから学んだ『あたりまえはあたりまえではなくて、ありがたう』という言葉をこれからも活かしていきます。今は患者さんの生きる力を引き出せるような看護師を目指して、どの国でも通用する看護師になり、貧困や災害により十分に医療を受けられない人たちの役に立ちたいと考えています。



全国大会報告

女子ソフトボール部

3年4組 大森 夏子



私たちは、3月に栃木県大田原市で行われた第39回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会に出場しました。コロナ禍の中でも大会が開催されたことへの感謝を胸に、チーム全員が強い気持ちをもって試合に臨みました。

2回戦で長野商業と対戦し、5回まで2-0でリードしていましたが、6回に2点、そして最終回に1点を奪われ、結果2-3で惜しくも敗退しました。三高女子ソフトボール部に代々受け継がれてきた「全国ベスト16」という目標にはあと一步届かず、今までにない悔しさを感じました。しかし私たちにはまだ夏があります。総体までの残り1ヶ月、最高の仲間たちとソフトボールができる喜びを噛みしめながら、チーム一丸となって練習に励んでいきます。そして、必ずインターハイに出場し、今度こそ「全国ベスト16」という目標を達成したいと思います。これからも応援よろしくお願いします!!

男子ソフトボール部

3年2組 内田 辰徳

私たちは、3月に和歌山県紀の川市で行われた第39回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に出場しました。1回戦で愛知県立刈谷工業高等学校と対戦しました。序盤に2点を先制し、良いスタートを切ることができましたが、その後同点に追いつかれて逆転を許し、力及ばず2対14という悔しい結果になりました。

島根県代表として全国の舞台を経験させていただいたことで、私たちの力が全国でどのくらい通用するのかわかることができ、全国で勝つための手がかりを見つけることができました。この経験を糧にチーム一丸となって技術の向上に努めていき、高校総体で安来高校に勝ちインターハイに出場できるように頑張ります。そして、全国の舞台で選抜大会のリベンジができるように頑張っていきます。応援ありがとうございました。



演劇部

3年3組 山中 慶太郎



演劇部は3月29日から31日に愛知県の豊橋市で行われた全国代替大会に参加しました。全国レベルの高校演劇を間近で見ることができました。3校しか見ることができませんでした。とても勉強になりました。私たちは、性をテーマにつくられた「ただ、今」というコメディ系作品を上演しました。お客さんの反応はとても良く、気持ちよく演技をすることができました。観劇をし合うという大会で、順位や結果はありませんでしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。この経験を生かし、より演技を洗練していきたいと思っています。